

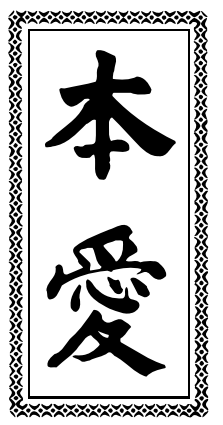
# 陽春のおぢばへ 一人でも多くの帰参者を



4月18日、親里にて「教祖誕生祭」が執行される。寛政10年、教祖がお生まれになったこの月この日。毎年、教祖にご誕生日をお祝い申し上げようと、国の内外から大勢の教友が帰り集い、陽春のおぢばは慶祝ムードに包まれる。

## 4・18教祖誕生祭 4・19婦人会総会

教祖の221回目の誕生日となる今年。午前10時から勤められる祭典では、祭文奏上に続いて、かぐらづとめと十二下りのてをどり陽気に勤められる。祭典に続いて、今年も「よろこびの大合唱」が本部中庭で行われる。創立110周年に向け、翌19日には、本部中庭にて「婦人会第101回総会」が開催される。婦人会では、来年に迎



発行  
天理教本愛大教会  
〒453-0821  
名古屋市中村区大宮町 1-60  
TEL (052) 461-4326  
FAX (052) 461-4320  
〒632-0071  
奈良県天理市田井庄町 19-1  
TEL (0743) 62-0378  
編集責任 広 報 部

### 立教 182 年 活動目標

- 「恩報」の実行
- 初参拝の推進と新よろこぶの丹精
- 報恩感謝のおつくしの徹底
- 若者にご恩報の心を伝えよう
- ◎一名称本年まで三人の修養科生を守護頂う
- ◎報恩感謝別席参の実施(6月23日・11月24日)

える創立110周年に向けて、本年5月から「会員決起の集い」が全国各地で開催されるほか、現在、「一人が二人の会員をご守護頂きましょう」との動きを進めている。また、本年10月から来年11月にかけて、「別席強調期間」が計3回設けられるほか、「日々のお供え」も呼びかけられている。今年総会には、一人でも多くの婦人会員が集まり、一歩でも成人した姿を親神様、教祖にご覧いただき、お喜びいただこう。総会は、午前9時30分より執り行われ、婦人会長様の挨拶を賜る。また、当日は記念行事として正午より天理市民会館

など6会場で講演会が行われる。講師は金山昌代・淀前支部長、今西たきよ・山陰支部長ら6人。大教会の団参列車も

大教会では、この時旬に臨み、一人でも多くのよろこぶ・信者におぢばへ足を運んでもらいたいとの思いから、団参列車を運行する。往路は、4月18日午前7時54分近鉄名古屋駅発、復路は翌19日午後2時16分近鉄天理駅発。いずれも申し込みは、各教会を通じて大教会輸送部まで。申し込み受付日は4月12、13の両日。

**4月29日(月)**

**全教一斉**

**ひのきしんデー**

※詳細は所属教会におたずねください。

4月のこよみ	
入 社 祭	1日 午前10時
祭典終了後、教会長連絡会	よふき会 例会
女子青年例会	2日 午前10時
学生会例会	6日 午前10時
青年会例会	7日 午前10時
月 次 祭	13日 午前10時
布教実修所	14日 午前9時30分
むつみ会例会	16日 午前10時
教祖誕生祭	18日 午前10時
教祖誕生祭総合団参	18日、19日
天理教婦人会第101回総会	19日 午前9時30分
雅楽勉強会	20日 午前10時
本愛こども会	21日 午前10時
こはる会例会	21日 午前10時
本愛よろこぶ鎮成会	24日 午前10時30分
本部月次祭	26日 午前9時
全教一斉ひのきしんデー	29日

## 婦人会委員長講習会 要旨



本部長・日野大教会長  
宇野義明先生

なぜ、婦人会は女性だけで集まるのでしょうか。当然のこと過ぎて、いざ聞かれると答えに困ってしまいますでしょ！ 私は、婦人会の集まりは、自らを振り返り、自分が生み育ての徳分を持つ女性だ、ということとを思い起こすための集いだと思っております。普段女性であるということを忘れてはいないか。どうか婦人会では大いに集まり喋っていたらいい、女性としての自覚を取り戻す場にしていただきたいと思います。

なぜなら、現代です。物が溢れ、生活が豊かになった結果、辛抱することさえ難しくなっています。また、他人から責められた時はすぐに、ネットにそう書いてあったなどと、人のせいにして生きる癖が付いてしまっている人が多い。そこで私は、現代の風潮の中で忘れてはいけない心得を四つ提案します。まず一つは、「考える力を養う」ことです。普段の何気ない事でも、なぜそうなっているのかという理由を探る習慣を身につけましょう。また、事情、身上を思案する際にも、ただ漠然と思案したり、格好

や体裁を保つための思案にならないように気を付けましょう。本当の思案とは、「根気よく考え続ける」とことです。二つ目は「協調性と心のバランス感覚」です。自己中心の心を捨て、周りにどれだけ喜んでもらえるかという協調性を忘れず、自分が結構過ぎたら、過ぎた分を相手に分けようとする気配りが大切です。また、共に泣き、共に喜び、共に思案して、助け合いと励まし合う精神を持ち続けましょう。これには「おつとめ」が一番です。三つ目は、「自分で考えたことを勇氣を持って発言し、実行に移す」ことです。これが問題意識を持つことと繋がり、解決への糸口となっていくます。四つ目は「新しい体験をする」ことです。新しい体験がなくなれば、そこには閉塞感が生まれ

てしまいます。進歩がありません。教会へ新しい信者さんを迎え、常に新鮮な雰囲気を保つ努力を怠ることのないようにしましょう。そして、教祖には「ようぼくとしてお使いください」と常に申し上げましょう。そうすると、驚くほどすぐに御用が与わってきます。申し上げなければ、使っていただけません。以上四つの心得を常に抱いて、日々の生活を送ってもらいたいと思います。

婦人会の役割があり、青年会の役割もあります。そして、教会は「学び」、「癒し」、「お楽しみ」の三つの柱で成り立っていると私は思っています。人生の生き方や幸せになる方法を学べる所であり、心を癒し、たすけていただける場所。そして、何か悩みがあれば親神様と対面し、教祖ならどう仰るだろうと思案させてもらえる場所です。さらに、老若男女、みんなが一堂に会して、楽しい時間を過ごせる場所。それが教会なんですよね。

今日の講習会の名称は「委員長講習会」ですが、「委員長」とは一体何でしょうか？ 答えは、それぞれの教会の婦人さんたちを束ねるリーダーのことです。ここで気をつけなければいけないことは、この「教会」を忘れてしまつて婦人会活動することが多いんです。教会があるからこそ、

教会の中で御用に励めば必ず幸せになれます。なぜならば、人間の魂のふるさと・ぢばの理を頂戴しているからです。教会に携わる皆様は、教会でのお母様であります。このことをしっかりと自覚することが大切です。信者さんが教会に来ても、「何しに来たの？」「頼む時は願書を書いてや！」

### 現代の風潮の中で

さて、現代は自分で自分をしっかりと作っていかなく

ば、現代は自分で自分をしっかりと作っていかなく

ば、そこには閉塞感が生まれ

てしまいます。進歩がありません。教会へ新しい信者さんを迎え、常に新鮮な雰囲気を保つ努力を怠ることのないようにしましょ

そして、教会は「学び」、「癒し」、「お楽しみ」の三つの柱で成り立っていると私は思っています。人生の生き方や幸せになる方法を学べる所であり、心を癒し、たすけていただける場所。

というような淡白なやり取りになってやいないだろうか。教会へ来てくれた方に、母親の心で「一緒にひのきしんしましょう」と言える準備が常にできているか。その意識を持つようにしていただきたいと思えます。

婦人会の創立110周年記念総会には、一人の会員が二人の会員を連れてくるということが打ち出されていきます。それも、できるだけ若者をおぢばに連れて帰りましょう。そして、その若者たちにおぢばへ帰る意味と意義を委員長一人ひとりが心に治め、そしてそれを伝える努力をしましょう。

若者が増えれば、人数目標は必ず達成されます。信仰を重ねておられるお年寄りの方々は、きちんと来てくださいます。またどうしてもおぢばに帰れない高齢のご婦人の方々には、その方のそばに寄り添い、先輩の尊い体験談を聞かせてい

ただき、勇気を貰いましょう。そして動ける者が、若者を連れておぢばへ帰る。そのことを心に置いていたいただきたいと思えます。

二つ一つを心におさめる

「元初りのお話」の冒頭には、「人間を造り、その陽気ぐらしをするのを見て、ともに楽しもうと思いつかれた」とあります。ここで大切なことは、人間を造つてから陽気ぐらしができる人間となるよう修業せよと仰つたのではなく、「その、陽気ぐらしをするのを見て」でありますから、我々は元々陽気ぐらしができるように作られてあるということなのです。だから、我々の元のいんねんの自覚は陽気ぐらしであります。ですから日常生活において何が起きて、先ずはこれで良かったのだ！と心を治め、次に何が良かったのか「よかつた探し」をして、

親心を掴み大難を小難にしていただいていることに気づく努力をしていきましよう。

また続いて「元初りのお話」には、大切なことが述べられてあります。

「そこで、どろ海中を見澄されると、沢山のどぢよの中に、うをとみとが混つている。夫婦の雛型にしよう」と、先ずこれを引き寄せ「……」とあります。「うを」と「み」のどこに夫婦の雛型があるんでしょうか。

私はある日、魚屋さんに行って分かつたのであります。店頭に並べてあつた魚はどれも目を開けていました。水族館に行くところでもまばたきして泳いでいる魚はいない。そこで発見したのが、魚には瞼まぶたがないという事です。そして面白いことに、蛇にも瞼が無いことが図鑑を調べて分かつたのです。このことから、私は夫婦の基本は見つめ合

うことだと悟ることができたのです。夫婦は目を閉じてはダメなんです。下を向いていても、背中合わせでもダメ。夫婦は、見つめ合い、拝み合つて暮らすことこそが、夫婦の基本であるという事を悟りました。

さらに、生き物をそれぞれ引き寄せられるくさりでは、かぐらつとめを通して「二つ一つの理」を教えてください。この向かい合う、対となる守護の理もすぐに言えるようにしておいてください。水の守護の理に対するのは火の守護の理。切る守護の理に対しては息吹き分けの守護の理など、この「二つ一つの理」がとても重要です。

また、この5つのペアになつている二つ一つはかんろだい・ぢばで繋がつています。すなわち、生まれる・育つという事です。このことを頭に入れたら、二つ一つは絶対に忘れません。

火と水、男一の道具と女一の道具、種と苗代で生命の誕生、切ると息吹き分けは、親と子の胎縁を切つて産声をあげてこの世に生まれてくるということ。また、水気上げ下げ飲み食い出入りと引き出しの理合いは分りにくいかもしれませんが、草木を見つめると芽を出す旬にはよく雨が降ります。また、飲み食い出入りと発育の関係は、よく食べ、よく排泄することよく育つんですよね。

このように二つ一つをしっかりと自分のものにしておいてください。これがおたすけに重要なヒントとなつていきます。どうか引き続き「元の理」の勉強会を重ねていってください。

これからの本愛支部の益々のご活躍とご繁栄を祈念して、私の話を終わらせていただきます。

ご静聴ありがとうございます。 (文責・広報部)



教理随想

言わん言えんの理を探る



前号までに惜しい、欲しい、というほこりの心使いについて述べました。この二つは主として物に対する心使いです。自分の持ち物を手放すのは惜しい、あるいは、できる働きをしない骨惜しみ。また自分の持っていない物が欲しいという心使い。さらには人に対して「ああして欲しい」という場合でも、求めているのはその人の行為であって、直接人に向けられた感情ではありません。

これに対して、憎いとか可愛いというのは人に対する感情で、教祖は人に対する好悪の念の行き過ぎを戒められているのです。にくいのほこりについては次のように教えられています。自分のためを思って言ってくれる人を、かえって悪く思つてその人を憎む。また嫁姑など身内同士の憎み合い、さらには人の陰口を言つては謗り、笑い、その場で出来た罪を憎まず、人を憎む心はほこりである。

にくいという言葉の響きは少しきつひように感じられますが、こうして細かく具体的に説き諭してもらつと、自分の何気ない心使いがほこりであることに気づきます。その中でも親子、兄弟姉妹、嫁姑など身内同士の憎み合いは、陽気ぐらしを待ち望まれる親神様の思召からはかけ離れた大きなほこりであることを肝に銘じなければなりません。

にくいという心は、もの命を断つ心だと言えるでしょう。そこからは何も生まれず何も育ちません。政治の世界や国際間の対話の場面では、強い憎しみの感情をあらわにする姿をしばしば目にしますが、親神様の子供である人間は、そんなに憎み合わなければならぬほど情けない動物ではないはず。私たちようぼくの真実で、人間の心からにくいのほこりを一日も早く消し去りたいものです。

一方、家庭に目を転じれば、嫁というのは元来自分の娘である人が家に帰つてきたのだと教えられている。実に味わい深いご教示だと思います。これは嫁の側から言えば、舅(姑)が本来の親だということです。この点を嫁姑お互いがしっかりと心に治めることが根本であります。

【第52回】

# 人を憎む心は大きなほこり まず我が心に反省と喜びを

## ■喜びを探す努力

信仰すれば何でも完璧にできるというものではありません。みんな出発点も違います。それぞれに成人の度

合いも異なる訳ですから、形に現れる姿も様々です。けれども確かなことは、信仰せずにいる場合より、信仰のおかげで必ずどの家も結構になっていることです。本来ならばこれくらいでは済まないところを、軽く済ましていただいているという事実。これを直視してもつと喜ばなければなりません。たとえば家庭でよく喧嘩はするけれども、口喧嘩だけで済んでいるから有り難い。殴り合いにならないだけでも有り難い。このように、現れてくる事

実の中に喜びを探して感謝していれば、必ず家の空気は変わってきます。

人を責めたり憎んだりする心を改め、全ては親神様の思召から成ってくる姿であると思索し、喜びを探して暮らす努力が、特に現代社会では求められています。この点を心に刻んで日々を歩んでいきましょう。



### 布教実修所で修了式

3月14日、立教181年度本  
愛布教実修所の修了式が行  
われた。

1年間の布教活動を労  
い、布教部長より修了者一  
人ひとりに修了証が贈られ  
た。

### 春季霊祭執行

3月1日の入社祭祭典終  
了後、大教会祖霊殿におい  
て大教会長祭主のもと春季  
霊祭が執り行われた。祭文  
奏上に続き、親族、役員、  
教会長、一般の参拝者が参  
拝した。

### 吉人氏夫妻に

### 次女咲様誕生

3月13日、大教会長後  
継者・安藤吉人氏夫妻に  
めでたく次女が誕生さ  
れ、「咲」と命名された。

### 立教181年度修了者

(平成31年3月14日付)

直轄	栗原 幸子	本海部 (本海門)	岩崎美奈子
本耕 (本常盤)	加藤 礼子	" ( " )	杉山久美子
" ( " )	梶山 亜夫	" ( " )	高橋 純子
" ( " )	梶山とき子	" ( " )	加藤 徹雄
" (本耕山)	高木はつ子	" ( " )	加藤みね子
本道橋	松下すみ江	本喜愛	松浦よし江
本則武	安藤こと恵	"	武田 當子
本正道	出口 葉月	"	長谷川ユミ子
本仁愛 (本愛濱)	鈴木和加恵	本昭和	中島 美枝
本修徳	吉田 広子	本滋賀	細川やよい
本海部 (本海門)	水谷八千代	本愛守	渡邊眞由美
		本愛中	山神理恵子
			大橋 和代
			以上24名

### 春の陽気に包まれ 第50回総会を開催

会 団  
年 愛  
少 本

成人門出式では14人が少年会を巣立つ

3月24日、少年会本愛団  
は「第50回総会」を開催し、  
26名の少年会員を含む561名  
が大教会へと参集した。  
好天に恵まれた総会当  
日、午前9時前には少年会  
員たちが次々と大教会に到  
着。参拝ののち、育成会員  
らの着付けによって、少年  
会員たちは普段は着慣れな  
いおつとめ衣装に。  
午前10時、出口邦郎・本  
愛団団長の手に合わせて参  
拝の後、厳かに祭儀式が勤  
められ、祭主の本耕隊・松  
原充君が祭文を奏上した。  
続いて、おつとめ・十二  
下りてをどりが交代で勤め  
られ、神苑内には陽気なみ  
かぐらうたが響き渡った。

### 学修・大学の部、

### 高校卒業生コース開催

3月3日から9日まで、  
「学生生徒修養会・大学の  
部」が親里で開催された。  
本愛からも6人が参加  
し、全国の学生たちと共に、  
グループワークを中心に、  
さまざまな活動を通じて信

午後からは総会式典が神  
殿で執り行われ、少年会長  
様からのご告辞(代読)を  
賜った。引き続き、育成会  
長から祝辞が述べられた。  
また式典の中で成人門出式  
が行われ、今春、中学校を  
卒業する14人の会員に、修  
了証と記念品が授与され、  
式典は終了した。

総会式典の後はお楽しみ  
のアトラクションがスター  
ト。神殿の正面階段を舞台  
に、ダンスや鼓笛演奏、ド  
ラムパフォーマンスなどが  
繰り広げられた。  
また境内地と華洲館には



修了者には育成会長より終了証と  
記念品が一人ひとりに手渡された

各会・各隊の模擬店とゲー  
ムコーナーが催され、開始  
直後から各模擬店には長蛇  
の列ができた。輪投げやお  
もちやすくいなどのゲーム  
コーナーで子供たちはゲー  
ムに集中。景品を手にした  
会員らは、満面の笑みで喜  
こんでいた。

仰の喜びを学んだ。また1  
週間の合宿生活を通じて、  
同世代の仲間たちと絆を深  
め合い、道の後継者として  
自覚を新たにした。  
また10日から12日までの  
日程で「学生生徒修養会・  
高校卒業生コース」も開催  
され、こちらにも本愛から  
2人の学生が参加した。

事情おはこび  
(平成31年3月26日付)

本晃分教会

◎任命願

前会長・野田正道氏の辞職に伴い、野田正樹氏が会長の理のお許しを戴いた。



野田正樹氏

(野田氏の略歴)

昭和57年1月28日生まれ  
平成13年5月10日おさづけの理拝戴

移転奉告祭  
会長就任

本横山分教会(本耕部属・松原健治会長)では、3月16日午後5時より、大教会長祭主のもと御目標様鎮座祭を厳かに執行。翌17日午前10時より、大教会長をはじめ、世話人・石川文彦役員、児玉



堅一・中村区支部長ら多数の来賓を迎え、移転並六代会長就任奉告祭が賑やかに執り行われた。

講社結成

1月17日

亀岡講社(本則武所屬)

天理市田部町173-1

講社長 亀岡 秋子

1月27日

汐路町講社(本昭和所屬)

名古屋市名東区

上社5-917

講社長 安藤 広二

2月の中席者数

(3月20日提出分まで)

本美郷 2 一 以上2名

2月の初席者

本穂 黒川 菜緒  
本尾頭 荒木 優隆  
本喜愛 松浦 元  
以上3名

本實愛分教会二代会長

若杉正之霊の十年祭

本實愛分教会二代会長夫人

若杉けえ之霊の二十年祭

本實愛分教会では2月10

日午後1時より、二代会長・若杉正之霊の十年祭並びに、二代会長夫人・若杉

けえ之霊の二十年祭が、世話人・加藤成幸役員を祭主

として同分教会で行われた。

小島正輝氏(本耕部属・本八田分教会二代会長) 2月23日に出直された。享年79歳。告別式は2月26日午前10時より、薫田正次・本豊田分教会長を齋主としてしめやかに執り行われた。

小島正輝氏(本耕部属・本八田分教会二代会長) 2月23日に出直された。享年79歳。告別式は2月26日午前10時より、薫田正次・本豊田分教会長を齋主としてしめやかに執り行われた。

大教会日誌

平成31年2月23日~平成31年3月24日

2月

- 23日 青年会例会  
学生会例会
- 24日 本愛ようぼく錬成会
- 26日 本部月次祭
- 28日 常任役員会議◇役員会議

3月

- 1日 入社祭  
祭主・大教会長 扨者・田中新一、松浦道太郎  
指図方・板山公司 賛者・出口邦郎、大池美公雄  
春季霊祭  
祭主・大教会長 扨者・出口道男、安藤正二郎  
指図方・板山公司 賛者・坂倉敏男、細川 明  
◇おたすけ講話—杉下和平  
◇教会長連絡会
- 2日 よふき会例会

学生会例会

- 12日 常任役員会議  
青年会例会

13日 月次祭

祭主・大教会長 扨者・大倉八郎、桑子 保  
指図方・出口道男 賛者・佐藤正二、山本正太郎  
◇祭典講話—板山公司  
◇大教会長挨拶

14日 布教実修所

16日 むつみ会例会

17日 こども食堂MOGU (参加者45人)

20日 婦人会例会

22日 雅楽勉強会

23日 女子青年例会◇おはなし会

24日 少年会本愛団第50回総会

こはる会例会